A 常 Management 人材育成 わが社の秘策Ⅱ 第 2 回

人間を磨け、心を磨け。人は人でしか磨けない

有限会社クリタ園芸(山形県新庄市)

♪真綿色したシクラメンほど清(すが)しいもの はない。今から40年近くも前になるが、一世を風靡 した楽曲「シクラメンのかほり」である。当時、シ ンガーソングライターとして無名に近かった小椋佳 が作詞・作曲し、布施明が歌い大ヒットした。この ためか、筆者も含めて中高年の世代には、「シクラメ ン|というと、この曲と自分の青春時代を重ね合わ せ、懐かしさに浸る方も多いのではないだろうか。

農業生産法人・有限会社クリタ園芸は山形県新庄 市において、シクラメンを主力に、カーネーション、 ラベンダー等花きを生産。高品質を武器に直卸ルー トを確立し、自立的な農業経営を行っている。

社長の栗田義夫氏は最上地域農業法人研究会・会 長、山形県農業法人協会副会長の要職を務め、参加 法人の経営力強化に尽力している。また、講演会や セミナーの講師として農業経営から農政まで幅広く 発言している。このたび、新庄市の本社を訪問し、 社長に農業経営・人材育成の眼目をうかがった。

■品質とコストミニマムが生命線

社長は昭和24年山形県金山町生まれ。いわゆる団 塊の世代である。社長の実家は小規模なコメ農家で あった。昭和42年に高校を卒業し、家業に従事した



代表取締役 栗田義夫氏



主力商品 ミニシクラメン

が、限られた面積の中で、自立的な農業を営むため には、コメ専業では困難と考え、工夫を重ねながら 野菜、花きへとシフトしていった。花き、特に鉢物 に注目した理由として社長は「花きは他作物に比べ 市場外流通(直卸)が可能な品目であることと、ア メリカやヨーロッパの先進国の動向をみると切り花 から屋内鉢物、ガーデニングと需要が移る傾向があ る。日本も、それに追随するだろうとの読みがあっ た」と語る。平成14年3月に法人化し、同年の11月 に本拠地を新庄市に移した。現在は花き専業である。 「おもしろい農業、儲かる農業の追求」を基本理念と して掲げ、次の点に注力している。①品質競争に勝 つ、②コスト競争に勝つ、③自己資本比率50%以上 を死守、④徹底した経営分析、⑤徹底した内部改革。 このなかでも社長は「品質とコストが最大の眼目。 業界は狭く、高品質のものを提供していれば、自然 に注文は入る。品質こそ営業で、営業部門は廃止し た | と語る。コスト面については、①固定費(施設)、 ②資材費(仕入)、③労務費(作業効率)、④出荷率 (95%以上の維持)、⑤手数料のコストをミニマムに すべく、きめ細かく運用している。「これは製造業で は当たり前に行われていることであるが、私は農業 に取り入れた | と自信をのぞかせる。

■人材育成は最も高い壁

社長は経営者として成功するために乗り越えなけ ればならない6つの壁を指摘した。①技術の壁、② 販売の壁、③人材育成の壁、④資金繰りの壁、⑤経 営の壁、⑥洞察力の壁である。

これは、社長が講演等で、新たに農業を起業する 人に送っている言葉である。この中で社長は「人材 育成が一番ハードルが高い」と語る。「なぜなら、意 識が変われば、行動が変わる。行動が変われば、実 績が変わる。実績が変われば、評価が変わる。評価 が変われば、収益、賃上げ、ひいては幸せにつなが るという過程から考えて、人材育成は社員の意識の 部分に、踏み込まなければならない。人の意識を変 えるのは一朝一夕には出来ない」と解説する。

■意識改革に取り組む

社長は「突き詰めていうと人材育成とは、経営者 と従業員の意識格差をなくすこと。あらゆる機会を とらえて、意識改革に取り組んでいる」と語る。

その活動の一例として、全社員対象の決算報告会 の模様を紹介したい。当社は7月決算であり、昨年 の決算報告会は9月6日に開催された。全般的な売 り上げや収益の動向はもちろんのこと、品目ごとの 収支、1鉢当たりの経費等も含めて詳細に発表され た。さらに、前期の実績を踏まえて新年度の品目別 の課題と目標等も明らかにされた。なんと、この報 告会に半日を費やしている。このほかにも、幹部社 員との週単位のミーティング、幹部社員の外部研修 派遣、国内外からの研修生受け入れ、さらには、全 社員対象の海外研修等、意識格差を解消する活動は 多彩である。



クリタ園芸 社屋



クリタ園芸 施設内風景

今回の取材で、社長は1枚のペーパーを差し出し た。先ほど述べた、全社員向けの決算報告会で、社 長が最後に話したことの原稿になったものである。 社長のお許しを得て紹介してみたい。題名は『経営 者が求める従業員像と意識』である。

『=会社で必要な人=

利益を効率よく上げることを常に考え実践し成果 を上げ、仕事を通じて自分を成長させる人。

- =会社で不要な人=
- ① 遅刻しなければ良い。
- ② 休まなければ良い。
- ③ 与えられた仕事をそこそこやっていれば良い。
- ④ 皆と仲良くしていれば良い。
- ⑤ 社長の機嫌をとっていれば良い。と考える人 ※会社は稼ぐために努力する人のみ必要とする組 織であると認識すべし。会社にただ通っていれ ば給料がもらえると思っている人は去れ。給料 は仕事の成果によって上下する。
- ―与えられたポジションに全力を尽くす―

―仕事は厳しく、職場は楽しく―

取材を通じて、「人間を磨け、心を磨け、人は人 でしか磨けない」という社長の人材育成への思いが 印象に残っている。当社の強さの源泉に思えてなら (フィデア総合研究所 佐藤明廣)

有限会社クリタ園芸

代表取締役 栗田 義夫

本社:山形県新庄市五日町字月岡6929

設立:平成14年3月 従業員:12名

24 Future SIGHT Future SIGHT 25